



あ ら や

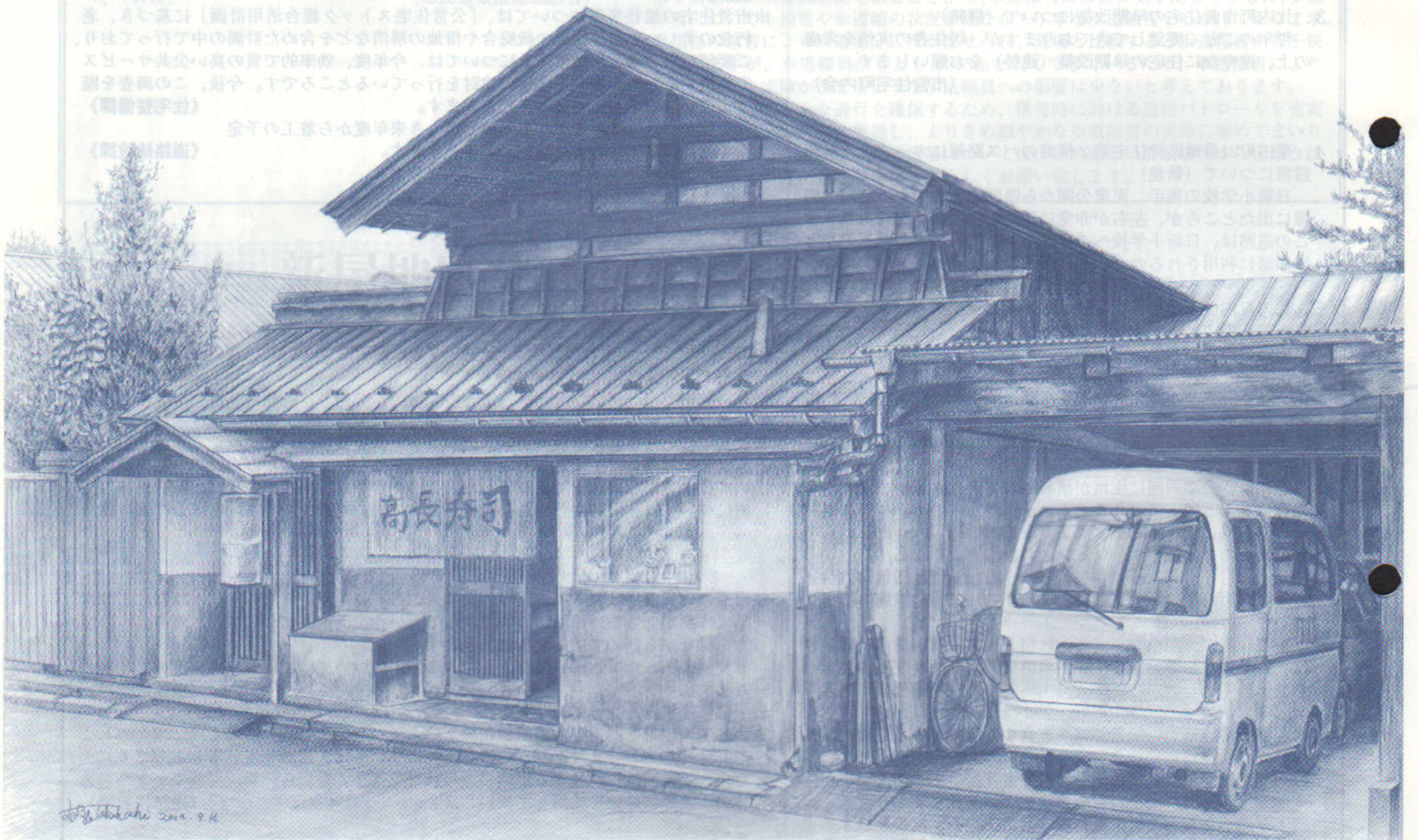
衆 報

No.106 平成18年1月1日

発行・新屋振興会 会長高橋昌一
編集・新屋振興会広報部
印刷・株式会社JAプリントあきた

- ② 要望事項に対する関係機関からの回答
- ③ 新屋地区「市民ミーティング」開催
- ④⑦ サークル活動
- ⑧⑨ 行事トピックス・表彰
- ⑩ 平成18年あらや町の行事予定表

残そう 新屋の街並



新屋らしい文化の創造を



新屋振興会会長
高橋 昌一

今年は、旧新屋町が明治二十九年に誕生してから百十年になり、秋田市に合併以来六十五年の歳月が過ぎ去りました。

変わりゆく時代の中で、新屋衆は常に強い連帯感に結ばれ、優れた生活文化を持つ郷土新屋の礎を営々として築いた先哲先人の偉業を偲びながら、新屋の歴史と伝統、そして史跡・神社仏閣・有形無形文化財を、しっかりと守り続けて参りました。これは、新屋衆の伝統的底气であると思います。

さて、先日ワークショップ（話し合いの場）の基調講演「新屋と私」で西部地域は全国的にも最も珍しい地域、小学校から大学まであるし、ほとんど全てがあると言っても過言ではない。周辺地域から通ってくる企業人四千人が働く西部工業団地もあれば、動物園・川・海もある。この小さい一角にこれだけの資源が集まっているのは、日本中探しても、他に無いのではないかと、秋田公立美術工芸短期大学学長で作家である石川好氏が話されました。

石川学長は秋田に着任以来四年半になりました。その間緻密に地域の特性を把握されるとともに、欠如しているところを鋭く指摘されております。又二十年前中央省庁から秋田県庁の工業振興課長として赴任された塩田和人さんが約四年に及ぶ秋田の生活から直面する課題などを書き綴った冊子を本省に帰られてから送り届けていただきました。

石川学長や塩田元課長のように秋田での短い年月の中から、新しい視点で様々な地域の今まで手がけられなかったことを示唆されております。私は困難を克服していくことが、次の繁栄への跳躍台であることを町民の皆様一人一人にご理解をいただき、新屋振興会の事業推進即ち新屋らしい文化を築きあげるために力強いご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

要望事項に対する関係機関からの回答

振興会では、毎年よりよい街づくりのため、町内会・各種団体より要望を取りまとめ、関係機関に要望書を提出し、改善を図ってまいりました。今回も色々な要望が出され、町内会長・理事連絡協議会で整理し、関係機関に要望書を提出しました。その回答が出されましたのでおしらせ致します。

要 望 事 項	回 答
<p>○秋田市に対する要望</p> <p>1. 市道豊岩踏切歩道部分の拡幅について（新規） 西部工業用地の開発に伴い、通過車輛の増加とともに車も大型化となり歩行者、自転車等の通行時には非常に危険です。事故の起こる前に拡幅をお願いします。 （田尻沢・南団地・沖田・高美の各町内会）</p> <p>2. 市道沖田～田尻沢間の歩道の電柱移動について（新規） 鳥木町、大倉オートから田尻沢バス停近くまでの3本の電柱が、歩道中央部に立っているのが冬期の除雪機が通れないのに加えて自転車と歩行者の交差時には、非常に危険です。早急に移動してほしい。</p> <p>☆電柱の場所と電柱No</p> <p>① 鳥木町4-53大倉オート石田坂線15 ② 高美町8-40水路付近石田坂線211-A ③ 高美町8-31加藤宅前石田坂線210-A</p> <p>3. 比内町市営住宅の早期改築について（継続） 毎年のごとく要望してきておりますが、居住者の実情を考慮の上、速やかに住宅の早期改築（建替）をお願いします。 （市営住宅町内会）</p> <p>4. 栗田町21番地県営住宅第2棟前のバス路線にカーブミラーの設置について（新規） 日新小学校の裏手、児童公園から県営住宅に向かってバス路線に出たところが、左右が非常に確認しにくい状況にあります。この道路は、日新小学校への通学路として又、車での送迎などで頻繁に利用されるので、ぜひお願いします。 （南新町町内会）</p> <p>5. 比内町内住宅団地、グリーンヒル及び秋田南パークタウンARAYA内のカーブミラーの設置について（新規） 道路の出会い頭危険ですので、カーブミラーの設置をお願いします。 ① グリーンヒル カーブミラー2箇所 ② 秋田南パークタウンARAYA カーブミラー2箇所</p> <p>6. 田尻沢西町の田尻沢街区公園周囲にフェンスの設置について（新規） 当初は、公園周囲に生垣が植栽されていたと思いますが、現在はほとんど残っておりません。子供が園内でボール等の遊びにより道路に飛び出します。また、園内の出入りがどこからでも出来るので危険です。フェンスの設置を要望します。 （南団地町内会）</p> <p>7. 田尻沢西町7-8・7-11・7-15各地先道路側溝の清掃について（継続） 道路側溝が汚泥やゴミであふれ出します。道路側溝の泥上げは、毎年要望しておりますが、早急に事業計画及びその見通しを開示してほしい。 （南団地町内会）</p> <p>8. 西部工業団地から県道65線へ直通する取り付け道路の建設について（新規） 西部工業団地の発展に伴い、営業者及び、工事用大型車が住宅団地（田尻沢）内を通行する状態が頻繁化しております。西部工業団地から寺内新屋雄和線（県道65線）へ直接連結する道路の新設をお願いします。 （南団地町内会）</p> <p>9. （仮称）西部地域市民サービスセンターの早期建設促進について（継続） 西部地域住民が待望する（仮称）西部地域市民サービスセンター（新屋支所・西部公民館に併せて新屋コミセン等を兼ね備えた合築建造物）を秋田市新屋扇町13地内へ早期に建設するよう要望いたします。 （新屋振興会）</p> <p>○秋田中央警察署に対する要望</p> <p>1. 比内町住宅団地内道路の速度規制及び、一時停止標識の設置について（新規） ① 団地内を全て30km規制して頂きたい。</p>	<p>※豊岩踏切を含めた約1.5km区間の旧県道については、平成17年7月に市に移管されたところであり、ご要望の踏切拡幅については、現地状況等を調査しながら、拡幅の必要性を検討してまいります。 ☆地元県・市議員を中心に再度要望していく</p> <p>※電柱の移動については道路管理者として、交通に著しい支障が生じた場合、道路法第71条2項により必要な措置をとることを命じることができると規定されております。 しかしながら当該電柱は、ご指摘の通り除雪や通行に支障はあるものの市内の電柱設置状況から総合的に判断し、交通に著しい支障を及ぼしている物件には至らないものと考えております。 従いまして、今後は地域のご要望として電柱の移動を所有者である東北電力㈱及びN T T㈱に働きかけてまいります。移動場所や工事費用等の問題がありますので、貴振興会としても直接両社にご相談くださいますようお願いいたします。《建設総務課》</p> <p>※市営住宅の建替事業については、「公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、老朽化の著しい小規模団地の統廃合や借地の解消などを含めた計画の中で行っており、ご要望事項の新屋比内町団地については、今年度、効率的で質の高い公共サービスを提供するための事業手法等の検討を行っているところです。今後、この調査を踏まえ建替に着手したいと考えております。 ☆予算がつき、今年度中一応のめどがつき来年度から着工の予定 ※今年度に設置できるよう検討してまいります。《道路建設課》</p> <p>※グリーンヒルの2箇所のT字路交差点については、片面カーブミラーが既に設置されており、安全確保に支障がないと判断されますので、鏡面の追加設置は困難です。尚、カーブミラーのずれにより見えにくくなっていた箇所については、位置の調整を行ったところです。 又、秋田南パークタウンARAYAの2箇所については、高いブロック塀等もなく、見通しがよいことから、カーブミラーの設置は困難です。《道路建設課》</p> <p>※ご要望のありました田尻沢街区公園のフェンス設置について、現地を確認したところ、公園周囲には生垣としてマサキが植栽されていましたが、南側の一部箇所については生垣がない状況でありました。このことから、道路への飛び出し防止等の措置については、町内会と協議し対応を考えてまいります。《公園課》</p> <p>※市道の側溝清掃は、幹線道路等の交通量の多い路線や、側溝の形状や構造により容易に作業ができない箇所については市で行い、生活道路については、町内会等の協力を得ながら進めている現状にあります。 ご要望のあった排水に支障が生じている箇所については、市で早急に実施してまいります。 ☆一部解決済みとなっております。《道路維持課》</p> <p>※西部工業団地と県道寺内新屋雄和線を結ぶ新たな道路計画については、現在のところ具体化しておりませんが、その必要性については、認識しているところです。今後、工業団地に関連する車輛の通行状況を踏まえながら、実現可能ルートや事業化の手法等について検討してまいります。《道路建設課》</p> <p>※本市では、「市民協働」と「都市内地域分権」を今後の市政運営の基本に掲げ、これを実現するための拠点施設として、新市建設計画である「緑あふれる新県都プラン」に（仮称）市民サービスセンターの整備を盛り込んでおります。 この（仮称）市民サービスセンターは、「住民に身近な行政サービスを身近な場所で提供すること」「地域の課題は地域で解決すること」を目指すものであり、西部地域を皮切りに、平成27年度までの10年間で、市内7地域への整備を順次進めていくこととしております。 （仮称）西部地域市民サービスセンターについては、現在、平成19年度の着工を目指して、地域住民とのワークショップを開催するなど、事業に着手したところであります。 今後、地域住民との十分な協議を踏まえながら事業の推進を図ってまいります。 《秋田市長》</p> <p>※団地内道路は、一部道路を除いては通過交通がほとんど無く、また道路の直線部分は短区間で構造的に高速走行できない状況で、かつ、実勢速度も約30kmと認められるため速度規制の必要性は認められません。 なお、通過交通の車輛に対しては、別添写真のとおり「○○団地内につき30km走行をお願いします。」等の看板を町内会で設置することも一方策だと思いますので参考にして下さい。</p>

要 望 事 項	回 答
② 一時停止標識を 8 箇所に設置して頂きたい。	※ 8 箇所のうち 2 箇所は十字路交差点であり、本年 8 月に設置済です。 他 6 箇所については、全て T 字路交差点で優先関係が明確であり、かつ、地域内交通がほとんどですので一時停止規制の必要は認められません。 ※ 移設します。
2. 規制標識の移設について（新規） 比内町 5 の 2 伊藤宅入口に設置されている時間限定一方通行規制標識を 8.8m 手前（東側）に移設していただきたい。 （比内町町内会）	※ 車両進入禁止標識を増設するほか、区間内の標識を整備します。
3. 表町から浜田に通じる通称（上の坂）の一方通行規制標識について（新規） （愛宕町町内会）	
○秋田県に対する要望	
1. 県道 65 号（寺内新屋雄和線）の J R 羽越線跨線橋の橋脚部落書きの消去について（新規） （新屋民児協）	※ 現地を調査した結果、橋脚部及びボックス部に約 100㎡のスプレーによる落書きがありました。落書きを消去するには、シンナーによる消去は困難であり、塗装吹き付けしなければならぬことから、約 100 万円程の多額の費用が見込まれております。新屋地区では、昨年にも秋田大橋と秋田西中前の橋梁で落書きが発見され、そのうち規模の大きな落書きがある秋田大橋については、落書きした本人にその消去を実施させるため、秋田中央警察署に被害届けを出して捜索をしていただいております。落書きの消去については、落書きをした本人の責任において現状回復するべきであり、このたびの跨線橋の落書きの件についても、警察に被害届けを提出し捜査をお願いしましたので、ご理解のほどよろしくお願い致します。今後とも同様な異常な行動を発見されましたら、秋田地域振興局もしくは警察署にご連絡下さるようご協力をお願いします。
2. 県道 56 号（秋田天王線）秋田大橋歩道の冬期間の除雪について（新規） （市民憲章推進協議会）	※ 秋田大橋は、昨年度に国土交通省から県に移管された橋梁であり、当該路線が秋田市を南北に結ぶ幹線道路であることから、車道除雪には特に気を配るとともに、歩道除雪についても積雪や歩道幅の状況を見ながら丁寧な歩道除雪を心がけております。車道部の除雪により歩道部分に雪が寄せられ、夏場と比較すると歩道幅員が若干狭くなりますが、歩道幅員がもともと 3.5m と広くできているため、車道除雪により歩行に大きな支障が生じるような歩道幅員への影響は少ないと考えております。今後も歩行者の安全な通行を確保するため、積雪時における道路パトロールを充実させて歩道状況を詳細に把握し、よりきめ細やかな歩道除雪の実施に努めてまいります。又、歩道への融雪施設の設置については、県の厳しい財政事情から困難な状況にありますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

新屋地区「市民ミーティング」開催

開催日時 平成17年11月28日(月) 午後4時より
場 所 日吉会館
出席者 《市側出席者》
○佐竹市長 ○多田企画調整部政策調整主幹 ○佐藤市民協働・地域分権推進室長 ○鎌田建設部次長 ○石黒都市整備部次長
○工藤教育次長 ○教育委員会総務課 1 名 ○市民相談室 7 名
計14名
《新屋地区出席者》
○新屋振興会理事及び顧問 ○各町内会長 ○各種団体代表者
総数43名

市民ミーティングは、地域活性化を目的に市長自ら出席し、地域代表者との意見交換の場です。数年前より実施しており、今回は新屋地区が選ばれ以下の内容で話し合いが行われました。
○市長の挨拶と市政報告
※国・県・市とも激しく動いている。一つ一つ解決していくことが大事になってきている。新屋地区は振興会主体にまとも地域づくりに励んでいる。是非他の地区にも伝えてほしい。
○秋田市の将来構想について
※観光事業も大事だが、産業振興を大きな柱として行きたい。当地の西部工業団地に現在大規模なコールセンターが建設中だが、更に企業の誘致を交渉中です。
※少子高齢化については、地域意識を高め交流、話し合いの場が大事で地域コミュニティが必要になって来ると思う。
※合併によって地域が広くなり木目細やかな行政が行き届かない面があり、身近な行政サービスを身近な場所で提供することと、地域の課題は地域で解決できるよう（仮称）市民サービスセンターを市内 7 地域に順次整備することとしている。
※（仮称）西部地域市民サービスセンターは、ワークショップを開催し住民の意見を取り入れた基本計画としているので、地域のシンボルとして又、皆様の拠点として大いに利用出来るものにしたい。
○市からの課題提起
※（仮称）西部地域市民サービスセンターについて
(1) 現在の新屋支所及び西部公民館の改築について
※両公共施設は、建築年数が古く老朽度が高いことから、施設運営の効率化及び利便性の向上も考慮し、（仮称）西部地域市民サービスセンターと複合化を図り、新市建設計画期間（前期）中の改築を予定している。
(2) （仮称）西部地域市民サービスセンターの基本機能
※（既）支所のグレードアップした機能、（既）公民館機能、（新）コミセン機能、（新）地域防災機能、（新）子育て支援機能
(3) （仮称）西部地域市民サービスセンターの建設予定地
※場 所 秋田市新屋扇町271番地 1 ほか14筆
※面 積 5,421.18㎡（実測）
※用途地域 商業地域（建ぺい率80% 容積率400%）

(4) （仮称）西部地域市民サービスセンター建設スケジュール
※平成17年11月 ワークショップ開催（年度末まで）建設基本計画策定着手
※平成18年 3 月 平成18年度当初予算に実施設計等経費計上
※平成18年 4 月～平成19年 3 月 実施設計等
※平成19年 4 月～20年度 建設（21年オープン予定）
○地域の重要課題について
(1) J R 羽越線豊岩踏切の拡幅について
Q：長年に渡って要望している。最近西部工業団地に入出入する大型の車がなくなり又、新屋高校生の通学路となっている。早急に歩道の拡幅をお願いしたい。
A：踏切に面した道路は、県道から市道に移管されたので、来年度に測量の実施と J R との協議も行う。直ちにとは行かないが前向きに考えていきたい。《鎌田建設部次長》
(2) 「湧水の郷」整備について
Q：新屋地区は昔から、おいしい地下水の恩恵に預ってきた。
住民が飲み水や洗い物に利用していた四箇所の井戸も大腸菌混入との水質検査の結果、利用出来なくなった。又、「湧水の郷」としてのイメージも衰退してきておりますので、是非整備をお願いしたい。
A：やすらぎの森整備事業の一環として、現在藤倉水源地の整備に着手しており、新屋においても平成19年度以降地元住民と具体的に相談していきたいと思っています。《石黒都市整備部次長》
(3) 日新小学校の環境整備について
Q：日新小学校は全県一のマンモス校で、部活動も多岐にわたって活躍しておりますが、校庭が狭く子供達の活動も制限されている状況です。隣接する土地もありますので、市の厳しい財政事情の中ですが、是非市で土地買収して環境整備をお願いしたい。
A：現地調査したところ、学校と隣接する土地との間に市道があり又、水源地もあった。すぐとは行かないが今後の研究課題として取り組んで行きたい。《工藤教育次長》

以上が今回の新屋地区「市民ミーティング」の内容ですが、「長い間新屋地域の課題であった、豊岩踏切の拡幅と湧水の郷の整備について要望が認められたことは喜ばしい。又、日新小学校の環境整備についても希望を持てる答弁を得た意義は大きい」と出席者の一人は語っていた。

大河流西部みやび会（舞踊サークル）

代表者 大澤 百合

私たちの「舞踊サークル」は、昭和五十四年に新舞踊を普及されておられた、播磨屋会主の提唱のもとで発足したと聞いております。当初は会員も十名ほどの様でしたが、昭和六十年の五月に私たちが入会し、総勢十八名ほどの会となりました。

この間、厳しいおさらいで汗し得たお免状の事とか、いろいろ思い出深いことが多くて、本当に楽しくわくわくする毎日でした。

平成八年に新岡寛華会主が誕生、大河流を名乗りました。

その後、歴代の会主が次々他界されましたが、平成十年より新たに師範今井敏子先生をお迎えし、懸命におさらいに励んでおります。

大河流は日本古来の歌舞伎舞踊を継ぐ、雅やかな中にも穏やかな流れが美しい魅力のある踊りです。発表会などで人に見てもらった時は、とても緊張しますが踊り終えた時の充実感は何ものにも変え難いものです。

これからも発表会への備えのためと、健康維持のためにずうっと続けて行きたいと思っております。毎週土曜日の午前中に、五名の会員でおさらいをしております。皆様の入会をお待ちしております。



三味線&民謡教室

代表者 梅 若 梅 祥

私たちのサークルは、平成九年一月、当地域の民謡好きな人たちが立ち上がって結成致しました。本格的に三味線と民謡を習得したい人たちが、中心となって勉強しておりますが、師匠梅若梅祥先生の厳しい指導ながらも、気さくな人柄で、和気あいあいとした、笑い声の絶えないサークルです。

本格的な三味線・尺八・太鼓の伴奏で謡う時は、少なからず硬くもなりますが、その緊張感がたまりません。

大好きな民謡を、腹の底から声を出していると、知らず知らずのうちに体力増進になっているようです。

声に自信のある方、民謡の大会

に挑戦してみようという意欲のある方大歓迎です。

梅祥先生が、厳しく鍛えて下さいますよ。

勿論ティータイムもあります。是非遊びに来てみて下さい。

毎月 第一・第三 土曜日 午後一時～五時に、十名の会員で活動しております。

会費は、月千五百円です。

皆さんの入会、お待ちしております。

佐々木俊子 記



サークル活動

書道サークル

代表者 加賀谷 茂

書道サークルの誕生は、先輩会員の方々に聞いても、いつ頃か残された記録も無く定かではありませんが、秋田市民館使用条例（昭和三十二年施行）より、その後年と推測されます。

書道といえば、大きな書体を連想されますが、楷書・行書・草書・かな・実務書道などがあります。

今はワープロやパソコンなど家庭で「筆ぐるめ」を使って年賀状や礼状など簡単に印刷できますが、



心を手伝うには何と言っても毛筆の手書き文書です。

多種多様な趣味の中でも、書は

人に見てもらったり褒めてもらったり、作品を展示会などにしたりすること、一層楽しくまた励みが湧いてきて生活に意欲が出てきます。

会員の中には秋田魁書道展に出品し、入選入賞の実績もあります。

毎年会員の親睦と交流を図り、一泊慰安旅行や日帰り観光旅行を実施しております。

書を学びたい方、初心者でも筆の持ち方や使い方など基礎から学べます。月会費 千五百円です。是非入会して下さい。

集会日は第一・第三火曜日の午前中 随時申込み受け付けます。

たか美会（舞踊サークル）

代表者 高橋 ミツ

私たちは、「秋田県民踊普及連盟」に加盟し、昭和五十一年十二月に発足した「民踊サークル」です。

踊りを楽しむ事は勿論ですが、会員の親睦を第一義として、年二・三回は各地の温泉巡りをして

いる楽しい会です。

総勢八名の会員ですが、稽古の合間には、お茶を飲みながら世間話に花が咲きます。

月一回は、サークル仲間の「秋西民謡同好会」との合同で、

「友愛の郷」さんへ、慰問のボランティア活動をしております。

皆さんの嬉しそうなお顔を見てみると、こちらも嬉しい気持ちになります。もともとと続けなければと、こちらが励まされます。

踊りは主に各地の民謡に合わせて、易しい踊りです。

活動日は、毎週 水曜日 午後一時～四時迄です。

踊りが好きな方、大歓迎ですので遊びに来て下さい。



書楽会（書道サークル）

代表者 黒 田 巻 子

書楽会は、昭和六十二年二月九日「書に親しみながら、会員の親睦を図ること」を趣旨として、先輩が発足させたものです。

一時は会員二十五名という盛況の時期もありましたが、言うところの高齢化が進んだ事など諸事情でやめる方が出まして、現在は十名です。

講師の先生も平成十年より不在なため、夫々に工夫して好きな書を持ち寄って勉強中です。

目下、「公民館まつり」に展示する事を目標に、楽しみながら活動に励んでおります。

練習時間が長いので、途中で息抜きのティータイムをとります。

その時は書の話は勿論、健康談義や世間話などで井戸端会議の様子を呈しますが、それがまた楽しみです。

書の好きな方 入会しませんか！経験者は大いに歓迎致します。

活動日は、毎月第二・第四月曜日 午後一時～四時迄

会費は月二百円（半紙と墨汁代）



西部実用書道サークル

平成十二年「実用書道教室」を終了した有志十数名が集まり、サークルを立ちあげました。のし袋の上書きや記帳する際の書き方、基本となる字の練習が主でした。

講師が体調を崩され、サークル



代表者 本川圭子

を閉じようかと相談していたところ北嶋先生の存在を知り、平成十六年四月から講師としてお招きし現在に至っております。

漢字まじりかな文と和歌かな文字の練習をしております。

練習日以外道具を開く事のない私ですが、手紙を受取った姉から「字が上手になったね」と褒められると嬉しくなります。知らないうちに少しずつ上達してきているのですね。六十歳の手習いですが、気長に続けて行きたいものと考えております。

毎月第一・第三月曜日 午後一時三十分から練習しております。入会したい方はいつでも大歓迎です。お気軽に声をかけて下さい。

茱萸の会 (絵画サークル)

絵画サークル「茱萸の会」は、西部地区の皆様とつながりの深い相澤謙一先生のご指導を仰いで早二十七年を過ぎようとしています。月二回 第二・第四金曜日、水彩・油彩と題材も自由で、和気あいあいの雰囲気の中で愉しく描いております。

先生は、油絵の具の溶き方の基礎から、描く事の奥深さ(物の存在感・質感の表現)等々をお教え下さいました。

まだまだ私達は学ぶことが沢山ありますので、いつまでもお元気で居られることを願っております。何せ二十七年間の長きに亘って培った、心の交流を大切にしているサークルです。

昼食時には、いろいろな話題に花が咲いて、とても楽しい一時と

代表者 加藤イセ

なります。これまでスケッチ旅行や・県展出品・画廊でのサークル展七回等の活動をして参りました。

会員十二名は、今後も公民館のバックアップを頂きながら、いつまでもこのサークルが存続する事を願っております。



紙人形教室

私達のサークル「紙人形教室」は、十年前 故越後谷先生のご指導を受けた十名の有志で結成されたそうです。

以来会員の出入りはありましたが、現在は長欠者を除き七名の会員が、平田清子先生の懇切丁寧なご指導のもと、先輩後輩が仲良くお互いに助け合って和気あいあいと活動しております。

桐の会 (茶道サークル)

私は以前からお茶に興味があり、機会があればお稽古したいと思っておりました。

他のサークルにも入っておりますが、嬉しい事にたまたまその会でお茶の会に入っている方と出会うことが出来ました。

「お茶に興味があるようでしたら、一度お稽古を見にいらして下さい」とお声を掛けて下さいました。

私は早速お稽古日に、皆様のお点前を拝見させて頂きました。

皆様のふく紗捌き、お点前、立ち振る舞いの緊迫した美しさに目を奪われました。

お稽古が終わった後で、サークルの方たちが和気あいあいとお稽古のおさらい話をされている姿を見て、私も会に入らせて頂きたいとお願い致しました。何もわからない私を皆様が快く迎えて下さいました。

お茶は礼で始まり礼で終わります。お菓子を取る箸の使い方、お茶を頂く作法など大変新鮮に感じます。お茶を立てる事・お稽古す

代表者 松淵禮子

紙人形は、細い針金が二本と顔に綿が少し、後は全部が紙で出来ております。

同じ寸法・材料で同じ作り方なのに、私達の手によって命を吹き込まれた人形達は、作り手の想いが移るのでしょうか、微妙な表情が個性となって表われ、とても楽しみです。

成させた時の満足感は、何事にも変えられないほど嬉しいものです。今まで続けられたのも、こうした奥深き繊細さに魅せられているからだと思えます。

毎月 第一・第三の水曜日の午前中 笑い声で始まる楽しいサークルへ、皆様も気軽に入会しませんか。

初心者大歓迎！お電話お待ちしております。

連絡先 八二八―一七三九の松淵迄

代表者 上村桂子

ることで、自分自身が磨かれ「茶の湯」の深さがわかる様になるそうです。

私はまだまだこれからですが、先輩の方々に少しでも近づこうとお稽古を楽しみに頑張っております。

皆様もお茶に興味のある方は一度お稽古日にお越し下さい。楽しい一時を過ごす事が出来ると思えます。

入会をお待ちしております。講師は熊地ケン様です。



薬草会

私達のサークル「薬草会」は、故小松昌二郎先生のご指導のもと昭和五十二年に発足致しました。

当初は四十名ほどの会員で賑わっていましたが、ご他聞に洩れず高齢化となるに連れ、一人二人と欠けてきまして、現在は十名の会員で活動しております。

小松先生は、戦争体験者で外地抑留時の大変食料事情が悪い中、何とか健康を維持しようとして、色々な野草を採取し、自ら食し実験を積み重ねた方です。

「自然界に自生している野草には、素晴らしい自然治癒力がある」と、身をもって体験した事を、私達にお教え下さいました。

最もポピュラーなものでは、ちそ・よもぎ・どくだみ・せんぶり等の煎じ茶ですが、飲み易くする為のブレンド技術が肝要となります。また種々の薬草類も、おひたしや天ぷらとして簡単に「薬膳料理」になります。

身近なよもぎには、十の効能があると云われております。要は医食同源、食して健康維持

代表者 進藤孝

増進が最大の目的なのです。

効力は私達会員の若々しく水々しい姿を見て頂ければ一目瞭然です。目下の悩みの種は、無公害の旬の素材が手に入り難くなっている事と、若手の会員不在で折角の知識を継承できないことです。

貴方も、身体に優しく副作用のない「薬膳料理」に挑戦してみませんか！

活動日は 毎月 第二土曜日午後一時―五時迄 会費 年三千元です。



西部卓球愛好会 (西卓会)

卓球を通じて健康維持増進、気分転換、仲間との親睦を目的に会を発足し、二十八年ぐらいいなっています。

現在若い人で十八歳、最高齢で九十歳代の仲間と硬式、ラージボール(生涯スポーツ)を、常時十二、三人で練習しています。また、秋田市卓球クラブ連合会(各地域公民館、コミュニティ

代表者 嶋田 満佐雄

センターの卓球サークル、卓球クラブ)に加盟しており、交流大会に年四回参加しています。

西卓会は現在会員二十人です。尚、練習日は、毎週火曜日の夜七時～九時です。年会費は三千円となっております。

卓球を楽しみたい方は、何時でもおいで下さい。

フェニックス (卓球サークル)

卓球はオールシーズンできて、年齢に関係なく生涯楽しめるスポーツの一つです。

当サークルは、平成元年四月一日に発足し、現在四十歳代から八十歳代までの男女二十二名で構成されております。

毎週水曜日の午前を練習時間として、主にロングラリーで快い汗を流しております。

代表者 渡部 昭蔵

もう一つの楽しみは、週一度の全員顔合わせとして、練習後、全員でお茶を飲みながらの語らいです。

公民館主催の研修旅行、他地域の卓球サークルとの定例交流会の実施、又、忘年会開催などで会員相互の親睦と、年齢を忘れて心身ともに健康を保つように努めております。

西部シャトル (バドミントンサークル)

ママさんたちのバドミントンクラブとして、三十年程の歴史があるようです。

毎週木曜日の午前が活動日になっており、現在六名の会員が、ハイクリア、スマッシュ、ドロップ、ストリート、ネット等、独自のバフォーマンスでプレーを楽しんでいるのですが、時折バレーボールのように、迫力のある回転レシーブが見られることも…。

体育館を五周するランニングからスタートして、柔軟体操、基本

代表者 蓬田 正子

練習と、じっくりとウォーミングアップをしてからラケットプレーを始めています。

気合は入れても、無理なく、楽しく、明るく、美しく(?)を心がけ、心地よい汗を流しています。経験のある方も、初めての方も、「白いシャトルを追いかけて、目一杯コートを動き回ってみたい!」と密かに誓いを立てられるとしたら、ぜひ一緒にしましょう。

珍プレー、好プレーで感動の名場面を体験しませんか。見学・入



会お待ちしております。



さくら会 (バドミントンサークル)

さくら満開!毎週木曜日午後一時になると、夫婦連れや元職場の仲間、ご近所同士、腕に自信のある人など年齢や性別に関係なく体育館に集まって来ます。

ドアを開けると、「おっ来たな、せば、はえぐズック履けや、始めろ」と声が掛かります。

コートの中では体を動かし、コートの横ではニュースや芸能、料理や健康、家庭話など人生相談

代表者 熊谷 光子

室が始まります。

体育館の中は話し声や歓声、大きな笑い声でさくら満開状態になり、にぎやかに時間が過ぎていきます。

「へばまた来週な、まだけよ」の声で終わります。

私達「さくら会」は満開のさくらのように、楽しく、にぎやかな会にしようと思っております。是非遊びに来て下さい。

ハイ・クリア (バドミントンサークル)

毎週土曜日十九・〇〇・二十一日・〇〇に活動しています。

活動方針は、基本の練習とゲームを通して体力の維持増進と技術の向上を図ることです。

今までに県大会、市大会で団体優勝(三部)経験があります。

当サークルは、練習のみならず親睦を深める懇親会も楽しみの一

代表者 鈴木 穰

つです。

一緒にいい汗を流し、おいしい酒を飲む方を募集しています。

(お酒が飲めなくても大丈夫です。老若男女を問いません。)

お問い合わせは…
(e-mail) miniluckyhappy@ybb.ne.jp

バドミントン愛好会

バドミントン愛好会は、現在会員十三名で、毎週金曜日午後一時より体育館にて、元気に汗をながしてシャトルを追いかけています。

平成五年、七名で発足して、早くも十二年になりました。

当時の一人で、現代代表者の佐々木幸一さんは八十有余歳になりますが、元気で若々しくコートを走り回る姿には、ただ驚嘆しております。少しでも肖りたいものです。

発足して数年間は、経験不足も

代表者 佐々木 幸一

あつていろいろ苦労もありましたが、皆の根気と明るさで乗り越えてきました。

会員の多くは七十歳以上で、年相応の動きしかできませんが、無理せず、怪我せず、少しでも長続きする様に心がけています。

会の良さは、あまり勝敗にこだわらず、相手を考え、楽しくプレーすることに徹している事だと思えます。

自分自身の健康を考え、皆と楽しみを共有し合える「打つ楽しみ



に打たせる心」これがバドミントン愛好会なのです。

長山 昭司 記



すみれ会（バドミントンサークル）

代表者 辻 永 美保子

私達のサークル「すみれ会」は平成七年に設立、老若男女の五十歳以上が活動してから早十年となります。

男性四名、女性五名の総員九名



ですが、年相応のサークルとしてお互いケガをしないように気を付けております。

運動不足の解消とストレス発散のための活動ですが、最近は休憩時間が多くなって来て、それがまた楽しみの今日この頃です。

休憩時間には、料理講習や新屋の郷土史話に花が咲き、大変勉強になります。

会のモットーは「スマイルでスマッシュ！」

活動日は 毎週月曜日 午前十時～十二時迄

（会費は三ヶ月千円（シャトル代）未経験の方も大歓迎いたします。是非入会しませんか★☆

やまばと（ゴムバレーボールサークル）

代表者 大 友 牧 子

私たちのサークル「やまばと」は、ゴムバレーボールを楽しむ会です。

三十代～六十代の女性陣で、年齢層の幅広いところが特徴です。

このサークルに入ってから早十二年、多少の入れ替わりはあったものの、周りを見渡せば相も変らぬ顔がそこにあり、変わったと言えは、「若い人はいないねー」と言われて来た私も今では「若い人はいないねー」と言う年齢になってしまった事くらいです。

練習の時はもちろんの事、その後のミーティング時でも一秒たりとも会話が途切れる事は無く、子供の話、旦那や姑の話、料理講習やダイエット話など話題には事欠きません。



現在十五人のメンバーがいます

が、随時募集しております。

火曜日の午前中、体育館で十五人の乙女が爽やかな汗をかいていますので、是非覗いてみて下さい。

えりか（ビニールバレーボールサークル）

代表者 斎 藤 ツ サ

八人制家庭バレーボールの練習のため、毎週月曜日午後一時から四時まで活動しているサークルで「えりか」と言います。

創部は昭和五十八年に、高齢者の健康増進と親睦を図るために、活動されたのが最初と聞いております。

最近では、全員が新屋老人クラブに加入しており、毎年開催される「市老連」主催の大会を中心に、各種大会に参戦するのが楽しみです。

毎週熱の入った練習をしています。現在クラブ会員は、男性十三人、女性十九人で各種大会での入賞を目指して頑張っております。

人の和とクラブ間の交流を深め、健康と体力づくりを目的とした



チームづくりをしています。

バレー愛好会（ソフトバレーボールサークル）

代表者 渡 部 直 子

当サークルは、毎週午後二時から四時迄、体育館で活動しているソフトバレーのサークルです。

ソフトバレーボールとは、柔らかいゴム素材のボールを使い、四対四で競うバレーボールで、秋田県だけに限らず全国で親しまれているスポーツです。

当サークルではバレーボールの経験や年齢を問わず、会員同士和気あいあいと楽しんで、良い汗をかいています。

現在会員は十名ですが、興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非遊びにいらして下さい。

バレーボールが好きの方、また始めて見たい方、健康のために何かスポーツとお考えの方、どんなキッカケでもOKです。



私たちと一緒にソフトバレーを楽しんでみませんか？

会員一同お待ち申し上げております。

キャンディーズ（ソフトバレーボールサークル）

代表者 佐 藤 悦 子

キャンディーズは「ソフトバレーボール」を活動の中心としています。

最初は予選敗退が続いていましたが、今では決勝リーグにも出場し、入賞するまでになりました。

参加メンバーは三十代が中心ですが、家族ぐるみで参加していますので、一歳～四十歳代前半ととても広範囲です。

活動は「ソフトバレーボール」だけでなくバーベキュー大会や旅行などもあり、とても和気あいあいとした雰囲気です。

今は大会での優勝をめざし、毎週練習に励んでいます。



西部バウンドテニスクラブ

代表者 嶋 崎 高 光

「バウンドテニス」はテニスと卓球の競技が合成されたスポーツであるといえます。

ルールはテニスと同じですが、テニスコートの六分の一のスペースでプレーできるところに大きな特色があります。

バランス感覚、敏捷性、瞬発力などが自然に身につくよう考案されており、運動不足解消、体力づくりにも最適なスポーツです。

また誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツとして、講習会も随時催されています。

生涯スポーツ「バウンドテニス」に貴方も、貴女もチャレンジしてみませんか。

当サークルは、毎週日曜日、午後一時から楽しく活動しております。是非「バウンドテニス」で心地よい汗を流して見て下さい。あなたの参加を待っています！！



行事トピックス

開学十周年記念事業を実施して

秋田公立美術工芸短期大学 事務局

(9/23)

本学は、創造性豊かな人間性を育成するとともに、「ものづくり」の人材育成、教育・文化の情報発信の拠点、市民が参加できる生涯学習の場としての役割を果たし、さらには広く地域に開かれた大学として、産業の発展に貢献することを目的に平成七年に開学し、おかげさまで十周年を迎えました。こうして区切りの年を迎えることができたのも地元新屋地域の皆様をはじめとする市民の方々のおかげであると考えております。

さて、本学では今年度、この十周年を記念する各種記念事業を実施しました。その一つとして、さる九月二十三日、学生の発案でキャンパス内のサークルプラザ(中庭)で来賓約二百人のほか、大勢の新屋地域の方々、学生、卒業生の参加のもとに開学十周年記念式典を開催し、同時に大学祭を並行して実施しました。

式典では、学長が十周年を記念したテーマを設定し、それに沿って市長が絵を描く「アートライブ(即興アート)」が行われ、テーマ「宇宙船」をもとに市長が絵を描き上げ、参加者から賞賛の声が上がっておりました。

また、式典終了後には、大学開放センター内の多目的ホールにて記念祝賀会が開催され、ホールに入りきれないほどの参加を頂き、



そのなかで、大学の誕生からこれまでの十年間の歩みを振り返るビデオを上映し、皆様からは懐かしいとの声が多く聞かれました。その他十周年を記念した事業としては、十周年記念誌の刊行、コース別イベントとして、視覚デザインコースのシルクスクリーン版画ポスター展およびガラスコースのガラスフェスタの開催、教員作品展、記念植樹を行うなど、十周年を振り返り、今を見つめ、将来を展望する各種イベントを開催しました。

最後になりますが、この誌面をお借りいたしました普段から地域「新屋」の皆様の本学に對しますご理解、ご協力に對しまして心より感謝いたしますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

表彰

春の叙勲

◎従五位

(瑞宝双光章)

小石 喜一(表町)

秋の叙勲

◎瑞宝单光章

(専門工事業務)

小田島秀夫(栗田町)

◎瑞宝单光章

(鉄道業務)

加藤 政和(大川町)

危険業務従事者叙勲

◎瑞宝单光章

(警察業務)

森川 佐吉(大川町)

社会福祉功労者に

對する知事表彰

伊藤 一(栗田町)

地域福祉の向上に

對する市社福会長賞

横山 秀男(元町)

鈴木ケイ子(田尻沢)

交通安全の協力団体に

對する市長賞

新屋老人クラブ

編集後記

新年あけまして、おめでとうございませう。今回の一〇六号ではサークル活動の特集を掲載しました。この機会に参加されてみてはいかがでしょう。まだまだありますので次回も特集いたします。皆様のご意見・ご感想もお待ちしております。

新屋支所気付 新屋振興会広報部
電話 八八八-八〇八〇

学習成果を一堂に披露
あしたを拓く
西部公民館まつり
(9/30~10/2)

恒例となり今年で三十回を数える「あしたを拓く西部公民館まつり」は、日頃から公民館を中心に制作や練習に励んでいる皆さんの作品や芸能の発表、親善ゲートボール大会、小学生のアドベンチャーハイキングなどに、特別企画として五城豊歌謡ショーを加え九月三十日から十月二日までの三日間の日程で盛大に開催されました。

開催期間中はあいにくの空模様で、時には激しく大粒の雨が落ちてくる天候となり、来館者の出足が心配されましたが、展示作品や出演者の演技を一目見ようという熱心なお客さままでにぎわい、延べ千人の入館者が数えられました。

今年は、公民館を利用するサークル五十二団体を写真で紹介するコーナーや、西部ブロック子ども会の活動風景を紹介するビデオコーナーも設けられ、訪れた皆さんの関心を集めるなど、例年以上に公民館活動が身近なものとして感じられる公民館まつりでした。

また、期間中に開催したチャリティーのダンスパーティーとバザーには、多くの皆さんの温かいご協力をいただくことができ、収益の一部は、各地区社会福祉協議会に寄付されました。



「創造と開発と・・・」
私たちのモノづくり理念です。

株式会社 道光産業

〒010-1633 秋田県秋田市新屋島木町1-47
TEL 018-828-8111
FAX 018-828-8100
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~doko/>

サッシ工事
外装、内装パネル
工事
手摺り及び建築板
金、金物、製作一式

水まわりのご用命は当社へ

秋田市指定工事業者

吉田ビニール(株)

秋田市新屋島木町1番46号 西部工業団地内

TEL 018-828-2811

FAX 018-828-2817

ISO 9001 認証取得
FMT 高白色度を誇る
炭酸カルシウム製造

株式会社 ファイマテック
秋田工場
代表取締役 片山 正人

西部工業団地 秋田市新屋島木町1-34
TEL 018-828-0171
FAX 018-828-0173



そば粉・もちろし粉製造販売
富士製粉産業株式会社

代表取締役 升谷恵美子

〒010-1633 秋田市新屋島木町1番62号
TEL 018-828-5701
FAX 018-828-0515



農薬・肥料・農業資材・種子
無人ヘリコプター

小泉商事株式会社

秋田中央営業所

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-136
TEL 018-888-8811
FAX 018-888-8666

JR券
航空券
宿泊券
etc



「旅は、新しいあなた
自身の発見です」

有限会社
フラワーツーリスト

永井 要

〒010-1635 秋田市新屋前野町11-6
TEL 018-828-5941
FAX 018-828-7083
携帯 090-2600-7082

ももさだウォーク& スタンプラリー開催

(10/1)

ももさだウォーク実行委員会主催の新屋地区の歴史・文化施設を徒歩で再発見しながら、巡る「ももさだウォーク」が十月一日(土)開催されました。大森山動物園前を発着点として、あいにくの小雨の中五十名の「秋田あるけるけ」の会員を中心に九時に出発。八kmのコースを約二時間半をかけて、葉隠墓苑・実相寺・忠専寺・長寿の泉・アトリエももさだ・汗かき地蔵・日吉神社等を巡って、新屋の魅力ある名所・歴史にふれながらウォーキングを楽しみました。



第三十八回 新屋町町民大運動会開催

(10/2)

恒例の町民運動会は、九月二十五の予定であったが雨天のため十月二日(日)に順延になりました。しかし前日から雨になり開催が危ぶまれましたが、当日は雨も上がり早朝から体育協会役員の懸命なグラウンド整備により、二二町内から子供を含め約千二百人の町民が参加し盛大な運動会が開催されました。

第三十八回町民大会の成績	
◎優勝	緑町
◎準優勝	比内町
◎第三位	十條団地
◎第四位	南団地
◎第五位	愛宕町
◎第六位	大川町
ボスターコンクールの成績	
◎体育協会会長賞	中表町
◎特別賞	関町後
◎努力賞	沖田町
◎ユーモア賞	緑町
◎アイデア賞	関町

いつまでもお元気で 新屋地区敬老会

(9/19)

平成十七年度新屋地区敬老会が、九月十九日(月)新屋地区社会福祉協議会が新屋婦人会のご協力を得て、秋田市勤労者体育センターで開催されました。同センターでの開催は今年で二回目、新屋地区の皆さんが一堂に会しての和やかな集いになるように、スタッフ一同綿密に計画してその日に臨みました。

当日は好天に恵まれ、敬老会対象者千三百七十七名のうち三百四十五名が元気に出席されました。会長の挨拶のあと、来賓の皆さんから「いつまでもお元気で活躍を」との励ましの言葉を頂きました。又日新小学校三年生菊地夏光さんが「おじいさん、おばあさんは楽しい事、苦しい事をいっぱい経験した先生です。この町にたくさんのお年よりがいる事は心強い」とメッセージを読み上げました。次に婦人会会長熊地ケンさんより、記念品の贈呈があり、続いて出席者を代表して十條団地町内会の池田正さんより主催者に対して謝辞が述べられました。

住みよい街づくりを推進する ゴミフォーラム開催

(10/23)

第四回目的の新屋振興会主催のゴミフォーラムが、十月二十三日(日)秋田市新屋支所会議室で、約三十人の各種団体の代表者が参加し開催されました。

☆家庭ゴミの重さの約半分は水分。
☆市のゴミ処理費用は年間四十二億円その半分は、水分の処理にかかっております。
☆家庭ゴミの中に紙類が約二一%、プラスチック二二%含まれています。

今回は、秋田市の環境部から企画課長・首席主査のお二人を招き「秋田市におけるごみ処理行政の現状と、将来構想と市民意識の醸成について」の講演を中心に会議を進めました。最後に参加者から町内・家庭内におけるゴミ処理等について、質問・提言が出され三時四十分終了しました。
※特に家庭でのゴミ処理について、以下の点が強調されました。
(1) ゴミの減量(詳細は広報あきたに毎月掲載されています)

(2) ゴミの分別を守って下さい。
☆家庭ゴミ
ガラス類・ゴム、皮革類・プラスチック類・可燃物、陶磁器類
☆資源化物
古紙・乾電池・空き缶・スプレー・ペットボトル(キャップは家庭ゴミ)・空きビン・金属類



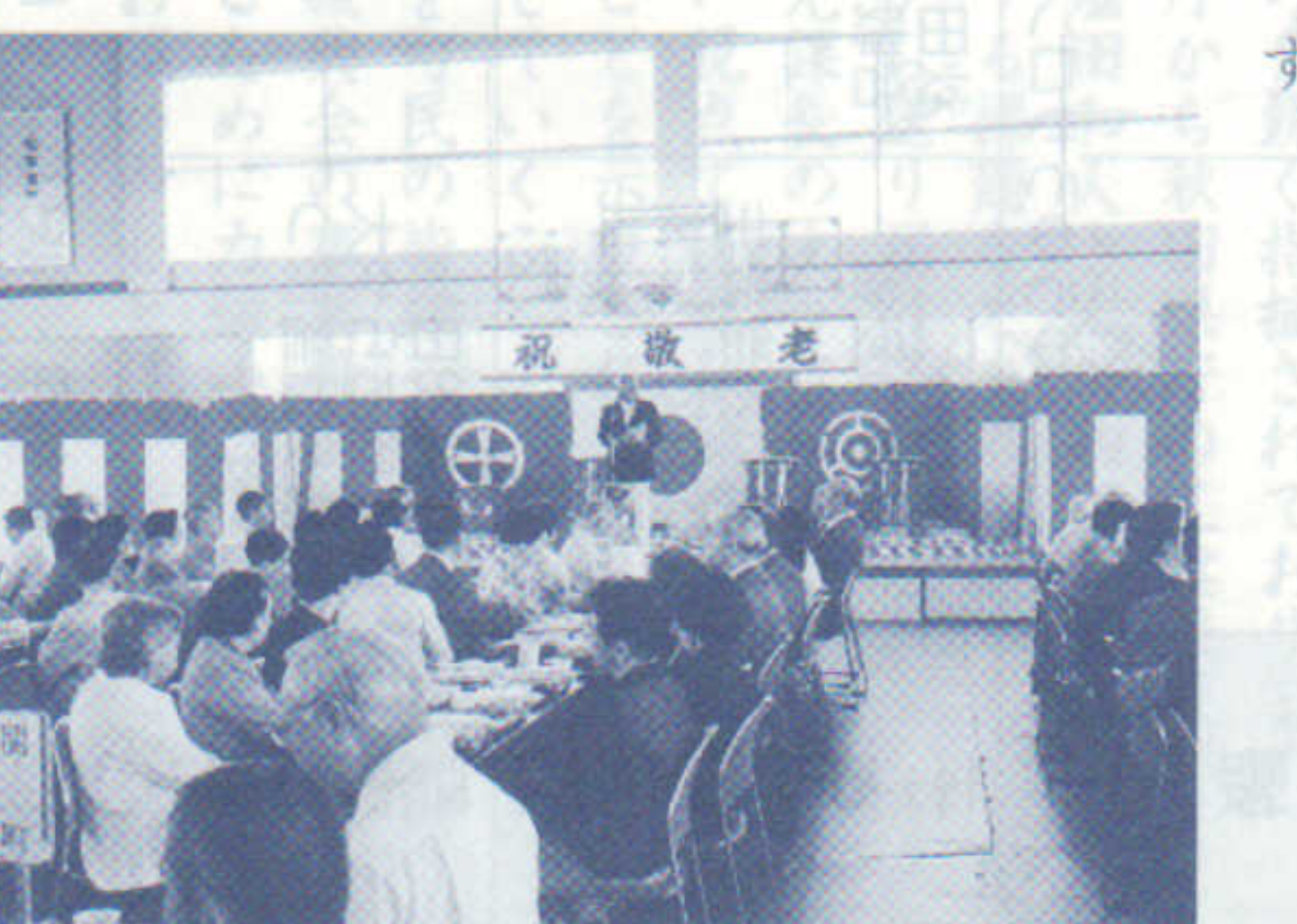
☆粗大ゴミ
一辺が五十cm以上の物
☆紙類の分別
チリ紙汚れた紙などを除き分別によりはば一〇〇%リサイクルできます。
◎市民一人一人がゴミ減量意識を持って取り組みましょう。

第五回 新屋地区防災訓練の実施

(11/6)

十一月六日(日)午後一時三十分より、西部運動広場で新屋地区防災訓練が実施されました。当日は天候に恵まれ、十九町内(自主防災組織結成町内)から約百六十名が参加し、(一)煙中避難訓練 (二)消火器による初期消火訓練 (三)バケツリレー (四)救命に必要な応急手当の、四組に別れ秋田消防署新屋分署職員の指導により、訓練が実施されました。

特に(二)の消火器による訓練では、家庭の消火器は使用時間は約十六秒なので、初期的な消火だけにし、火が広がったら必ず避難するよう又、(四)応急手当の基礎実技として、心肺蘇生法を新屋分署の救急救命士職員が人形を使って、



平成18年あや町の町行事予定表

【保存版】——貼り出してご利用下さい——

【あらや衆報編集部編】

	月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
団体		新屋振興会	新屋地区第21回囲碁・将棋大会(中旬)	(上旬)苗木仕分け配布作業活動(中甸) (下甸)あらややくら公園春季清掃	(上旬)総会	(中旬)役員会議 <div style="text-align:center">← 4月 (下旬)緑の羽根の配布、観桜会の出店</div>	(中旬)新屋地区定期總會	(上旬)四部合同會議(下旬)夏期巡回指導	(1日)あらや衆報発行第107号 17年度国・県・市に対する要望事項の取りまとめ(下甸)町内会長理事連絡協議會	(中旬)町内會長研修會	(上甸)理事會	(下甸)町內會長理事聯絡議會議	(中旬)町內會長研討會
市民憲章		新年會	新屋地區第21回圍碁・將棋大會(下旬)役員會議	(上甸)苗木仕分け配布作業活動(中甸) (下甸)あらややくら公園春季清掃	(上甸)總會	(中旬)役員會議 ↓ (下旬)緑の羽根の配布、観桜会の出店	(中旬)新屋地区定期總會	(上甸)四部合同會議(下旬)夏期巡回指導	(上甸)交通安全祈願祭 (下甸)あらややくら公園夏季清掃	(上甸)声かけの実践活動(中甸)役員會議	(下甸)あらややくら公園秋季清掃	新屋郷土文化講演會(上甸)声かけの実踐活動	(中旬)役員會議
新屋福祉協			新屋地區環境淨化と青少年のすこやかな育成を考える會	[「福祉新屋」ふれあい弁当]	總會	日赤社資・社員増強運動		[「福祉新屋」ふれあい弁当]	施設訪問	敬老會	一人ぐらし老人と語る集い 赤い羽根共同募金運動	[「福祉新屋」ふれあい弁当]	
新屋体育協						グラウンドゴルフ大会 ジュニアスポーツ（毎月第2・第4・土曜日）	・春季家庭バレー大会 ・新屋地区野球大会 ・ソフトバレーボール大会	壮年ソフトボ－ル大会 ミニテニス大会 全市一斉ラジオ体操のつどい		(第2日曜)第39回新屋町民大運動會	町内対抗秋季家庭バレーポ－ル大会	秋季ソフトバレ一大會	
新屋婦人会		市婦連大会	米料理調理実習 米消費拡大運動（笹巻づくり）	ふれあい弁当 きずな発行	委員總會 觀桜會出店	日赤募金	會員大會遠足	市婦連運動會參加	花火大會出店 きずな發行	敬老會協力 文化教室	赤い羽根募金 献血運動協力	ふれあい弁当 施設慰問	婦人講座 健康講話會
子ども育成協		(下甸)冬休みの反省世話入会 日新小担当先生を入れて	秋田市子ども雪合戦へ参加	役員會	會計監査役員會世話入會	(上甸)新屋子ども育成連絡協議會總會	県子連表彰式の出席 西部地区市子連總會	(上甸)役員會	夏休みもの反省世話入会 日新小担当先生を入れて 西部ブロックふれあいキャンプ	(9月23日)スポーツフェスタ 日新小学校体育館グラウンド	東北表彰についての推薦について 三役會議	東北研究大會參加 各県廻り番(第2週土・日)	秋田市政代表影について推薦會(西部地区)市長會議(公民館)
祭事・その他		(1月28日)第4回あらや大川散歩道雪まつり			(下甸)大川端観桜會(あらややくら公園)	25～26日日吉山王祭(統前町・比内町)	もちさだ海岸クリーンアップ第2日曜日・鹿嶋まつり	31～8／1栗原神社祭	10日雄物川花火大會	もちさだ海洋クリーンアップ28日(日)7：00～8：00			
――― 毎月・見守りネットワーク事業・1人暮らし老人巡回（民生委員） ―――													